

読者の声から

かがやき

編集部がつぶやき

よりよい誌面づくりのため、皆さまからいただいたご意見・ご感想を参考にさせていただいております。その一部をご紹介します。

『かがやき』が届くと『人間ドック行かなぎ』『食生活見直そう』と、ハツとします。(46歳女性)

↓「かがやき」の記事からご自身の健康を考えていただけると、記事の作り甲斐があります。これからもいろいろと気づいていただける誌面づくりを心がけます。

『3歳未満養育特例』は年金額への影響を避けるシステムということがわかりました。(57歳女性)

↓制度趣旨を知っていたらきつかけとなりうれしく思います。この制度は本人からの申出が必要となりますので、該当する身近な方へのご案内もお願いします。

会食利用補助や育児支援購入補助に興味があります。さらなる充実に期待します。(47歳男性)

↓平成28年のががやきメイトは継続メニューの他、新規メニューをご提供していきますので、「かがやき」や差込チラシ、そしてかがやきメイトホームページ情報を
お見逃しなく！

箱根駅伝ファンの私は、原晋さんの「なぜあんなに強くなったのか？」のインタビューにびっくりしました。半歩先の具体的な目標を大切にクリアしていきたいと思いました。(57歳女性)

↓昨年の初優勝に続く今年の連覇はお見事でした。「よりよい組織づくりがよりよい人材を育てる」。原監督が営業マンの経験から学んだことだったんですね。

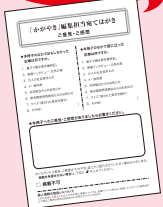


昨年12月、元都立墨田工業高校定時制教諭、大村智氏がノーベル賞を受賞されました。昼間、工場で働く生徒の油まみれの手を見て「自分は何をやっているのだ。もっと勉強をして人の役に立たなければいけない。」と感じたことが人生を変えたきっかけでした。

教諭をしながら研究を続け、その後ゴルフ場の土から、寄生虫が原因となつて引き起こされる感染症の特効薬イベルメクチンを開発しました。この薬は10億人以上に無償で配布され、重症化すると失明に至る感染症から人々を救いました。北里大学研究所には、大村氏の功績を讃えたアフリカの彫刻家による「盲目の大人を導く子供の像」が建てられています。

また、産学連携をいち早く取り入れ、研究費は寄付に頼らず自分で稼ぐという信念を貫きました。大村氏は受賞の喜びを16年前に亡くなった妻に一番に伝えたい。人の何倍も失敗して再び立ち上がって前に進めたのは支えてくれた人がいたからだと言っていました。東京都栄誉賞も受賞された大村氏の偉大なる功績と信念に乾杯！

掲載に当たっては添削する場合がございます。ご了承ください。



皆さまからのご意見・ご感想を随時募集しております。差込の「かがやき」編集部宛宛てはがきをご利用の上、お気軽にお便りをお寄せください。